

FX NEWS PRESS

2022年

8月号

2022年8月2日発行
FXニュースプレス
(No.188)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel: 03-6861-8181

今月の注目通貨ペア (P3)

米ドル円

米経済が2四半期連続マイナス成長に！
リセッション(景気後退)入り判断の有無
が今後の焦点か？

【WEBセミナーのご案内】

▶ FX初心者セミナー

8/10(水)	18:00~18:30	【無料】
8/17(水)	18:00~18:30	【無料】
8/24(水)	18:00~18:30	【無料】
8/31(水)	18:00~18:30	【無料】

▶ 日経225初心者セミナー

8/5(金)	18:00~18:30	【無料】
8/12(金)	18:00~18:30	【無料】
8/19(金)	18:00~18:30	【無料】
8/26(金)	18:00~18:30	【無料】

▶ テクニカル入門セミナー

平日は毎日	20:00~20:30	【無料】
-------	-------------	------

詳しくはホームページをご覧ください

AIゴールド証券 <https://www.aigold.co.jp>

AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員

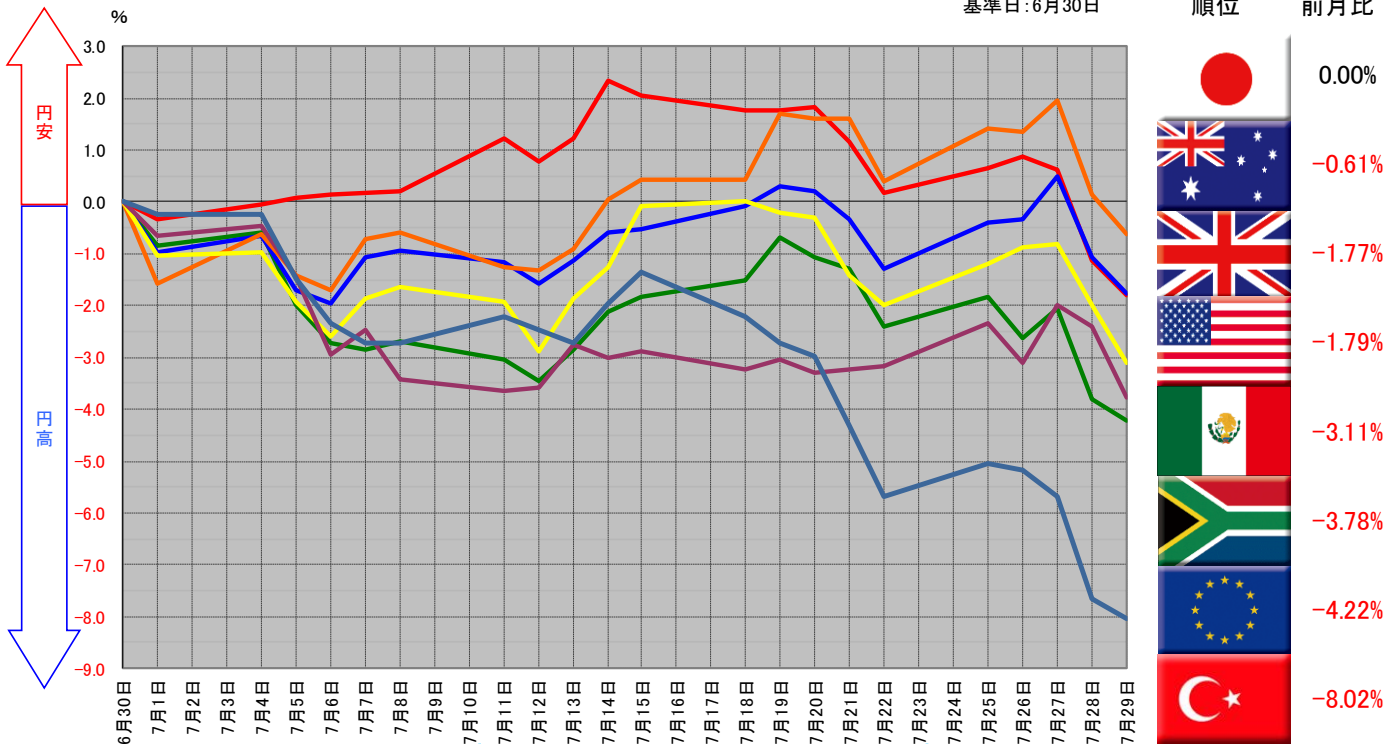
米ドル円 (基準値: 135.77) ユーロ円 (基準値: 142.29) ポンド円 (基準値: 165.29) 豪ドル円 (基準値: 93.735)
 ペソ円 (基準値: 6.755) ランド円 (基準値: 8.34) トルコ円 (基準値: 8.1)

7月29日時点評価

基準日: 6月30日

順位

前月比



7月5日 ユーロ売りが加速

ドルが2002年以來の高値を付ける一方、ユーロは20年ぶり安値に沈んだ。ロシアがドイツ向けのガス供給を停止するとの見方が広がる中、欧州や英国で天然ガス価格が急騰し、景気後退懸念が台頭している。また、リスク選好度の低下に伴い、米国債が買われたことで利回りが低下。長短の米国債利回りが逆転する「逆イールド」が発生した。ユーロ円は140円の大台を割り込み一時138.950まで下落。ユーロは対スイスフランでも下落し、スイス国立銀行(中央銀行)がスイスフランの対ユーロ上限を撤廃した2015年以降の安値に達した。

7月6日 FOMC議事要旨

この日、FRBは先月14~15日のFOMC議事要旨を公表。インフレ状況の悪化やFRBの対応能力への信頼喪失を懸念し、大幅利上げに踏み切ったことが明らかになった。また、7月下旬のFOMCで0.50%か0.75%の利上げが適切になる可能性が高いとの見方が示されたことも明らかに。議事要旨公表前の時点で市場では7月も0.75%の利上げを織り込んでいたが、0.50%と0.75%の双方が検討対象と分かり、FRBが利上げによる景気への影響を認識していることが示された格好となった。ドル円の反応は鈍かったものの135円台を中心に底堅く推移した。

7月7日 英ジョンソン首相が辞任表明

英国のボリス・ジョンソン首相が7日、与党・保守党の党首を辞任すると表明した。ジョンソン首相は官邸前で演説し、「議会の保守党が、新しい党首が必要だと考えている、その意思が明らかになったため、新党首を選ぶプロセスは直ちに開始する必要がある」と述べた。ポンド円は一時163円台半ばまで上昇した。

7月8日 米雇用統計

この日、米国労働統計局は6月の雇用統計を発表した。非農業部門雇用者数は、前月対比で+37.2万人の増加(前月改定値: +38.4万人)と、+39.0万人から小幅下方修正された前月を小幅に下回った一方、市場予想の+26.5万人を大幅に上回った。失業率は3.6%(前月: 3.6%、市場予想: 3.6%)とこちらは前月、市場予想に一致。労働参加率は62.2%(前月: 62.3%、市場予想: 62.4%)と上昇を見込んだ市場予想に反し、前月から-0.1%ポイント低下した。雇用者数の堅調な増加持続が明らかとなり、次回FOMCでの0.75%の追加利上げを後押しする内容となった。

7月13日 米CPI、ユーロがパリティに

米労働省が13日に発表した6月の消費者物価指数(CPI、季節調整済み)は前年同月比で9.1%上昇と5月の8.6%上昇から加速し、1981年11月以来40年超ぶりの大幅な伸びとなった。前月比では1.3%上昇と、2005年9月以來の大幅な伸び。5月は1.0%の上昇だった。ガソリン価格と食品価格の高騰が背景で、FRBが月内に予定されるFOMCで0.75%の利上げに踏み切るとの見方が強まることに。一部では1.00%の利上げ観測も噴出した。ドル上昇の流れが鮮明となる一方、景気後退への懸念からユーロ売りが加速し、ユーロドルは一時パリティ(等価)を割り込む場面がみられた。

7月14日 円売りが加速、一時139円台半ば

前日、米CPIの大幅な伸びを受けユーロドルがパリティ(等価)を割り込むなどドル高が鮮明となる中、日銀がハト派的な姿勢を維持していることを背景にドル円も上昇の動きが加速した。ドル円は一時139.405と、1998年9月以來の高値水準に達した。

7月21日 ECBが0.5%の利上げを決定

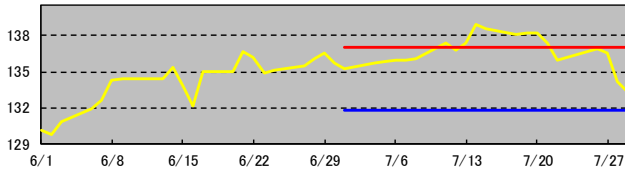
ECBはこの日の理事会で、政策金利を0.5%引き上げることを決定した。利上げは11年ぶりで、上げ幅は2000年以來22年ぶりの大幅利上げとなった。ロシア産天然ガスの供給不安で景気悪化懸念が急速に高まるものの、インフレ阻足を優先。景気後退とインフレが同時に進む「スタグフレーション」のリスクもあり、政策運営の難易度は増大しているが、ECBのラガルド総裁は記者会見で「大きな第一歩を踏み出すことが適切であると判断した」と述べた。2014年に導入したマイナス金利政策が終了し、米欧の主要中銀が利上げで足並みをそろえた。一方、日銀は20~21日に開催した金融政策決定会合で、金融政策の現状維持を賛成多数で決定。2022年度の物価上昇率予想を目標の2%を上回る2.3%に引き上げたものの、黒田総裁は会見で、持続的・安定的な物価目標の実現には至っていないと指摘し、改めて金融緩和を継続していくと述べた。ユーロ円は上昇し、一時142.315をつける場面がみられた。

7月28日 米、2四半期連続マイナス成長に

米商務省がこの日発表した第2・四半期の米国内総生産(GDP)速報値は前期比年率0.9%減と、2四半期連続のマイナスを記録。統計上の定義ではリセッションの条件を満たした。雇用が堅調な伸びを続けているため、米経済が本当にリセッション入りしたのかどうかは議論されており、景気の山と谷を正式に判定する全米経済研究所もまだリセッションを宣言していない。ただ、実際にリセッションになったと判明した場合は、FRBが想定ほど積極的に利上げを行う必要はないと判断する可能性が考慮され、ドル買いの巻き戻しが先行。ドル円は節目の135円を割り込んだ。

ドル円

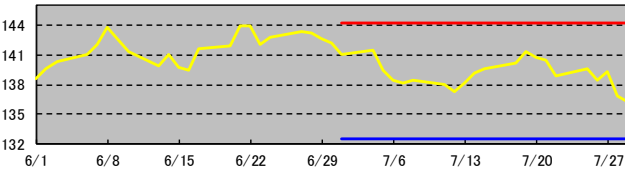
予想レンジ下限	予想レンジ上限
131.80	137.10



逆張り方針 評価【×】
コメント
予想レンジ上限を上抜いた。

ユーロ円

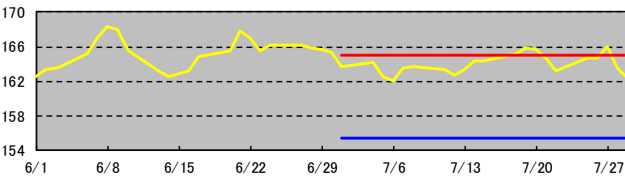
予想レンジ下限	予想レンジ上限
132.60	144.30



戻り売り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

ポンド円

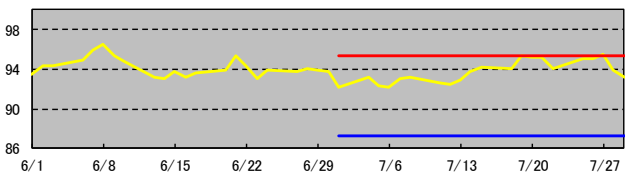
予想レンジ下限	予想レンジ上限
155.50	165.00



戻り売り方針 評価【×】
コメント
予想レンジ内で推移したが、下値は限られた。

豪ドル円

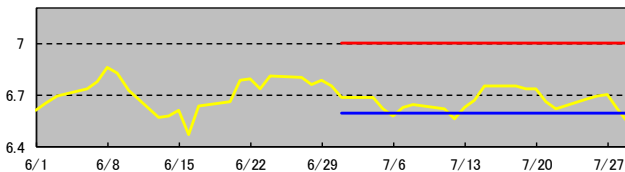
予想レンジ下限	予想レンジ上限
87.20	95.40



戻り売り方針 評価【×】
コメント
予想レンジ内で推移したが、下値は限られた。

ペソ円

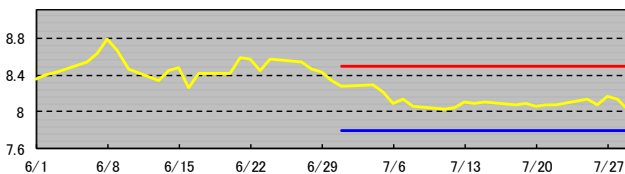
予想レンジ下限	予想レンジ上限
6.60	7.00



押し目買い方針 評価【×】
コメント
予想レンジ内で推移したが、上値は限られた。

ランド円

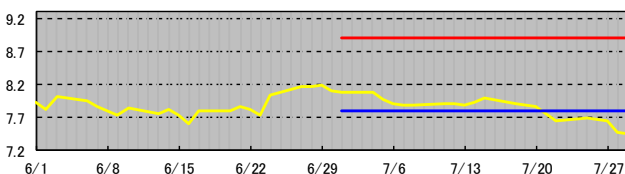
予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.80	8.50



戻り売り方針 評価【○】
コメント
予想レンジ内で推移した。

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.80	8.90



押し目買い方針 評価【×】
コメント
予想レンジ下限を下抜いた。

米ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 136.70円
 ↓ 129.00円



2022年3月1日～2022年7月29日

米ドル/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日・200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きにとどまる展開が予想されます。21日移動平均線(136.66)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7月の値動きから導き出した計算値(129.01)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(129.00)を下抜けた場合。この場合は5/24安値(126.35)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 22:45	7月製造業PMI【確定値】		52.3	★★
8/1 23:00	7月ISM 製造業PMI		53.0	★★
8/3 23:00	6月製造業新規受注(前月比)		1.6%	★★
8/3 23:00	7月ISM 非製造業総合指数		55.3	★★
8/4 21:30	6月貿易収支		-856億USD	★★
8/5 21:30	7月非農業部門雇用者数		37.2万人	★★★
8/10 21:30	7月消費者物価指数(前年比)		9.1%	★★★★
8/17 21:30	7月小売売上高(前月比)		1.0%	★★
8/25 21:30	第2四半期GDP【改定値】			★★★★
8/26 21:30	7月コアPCE価格指数(前年比)			★★

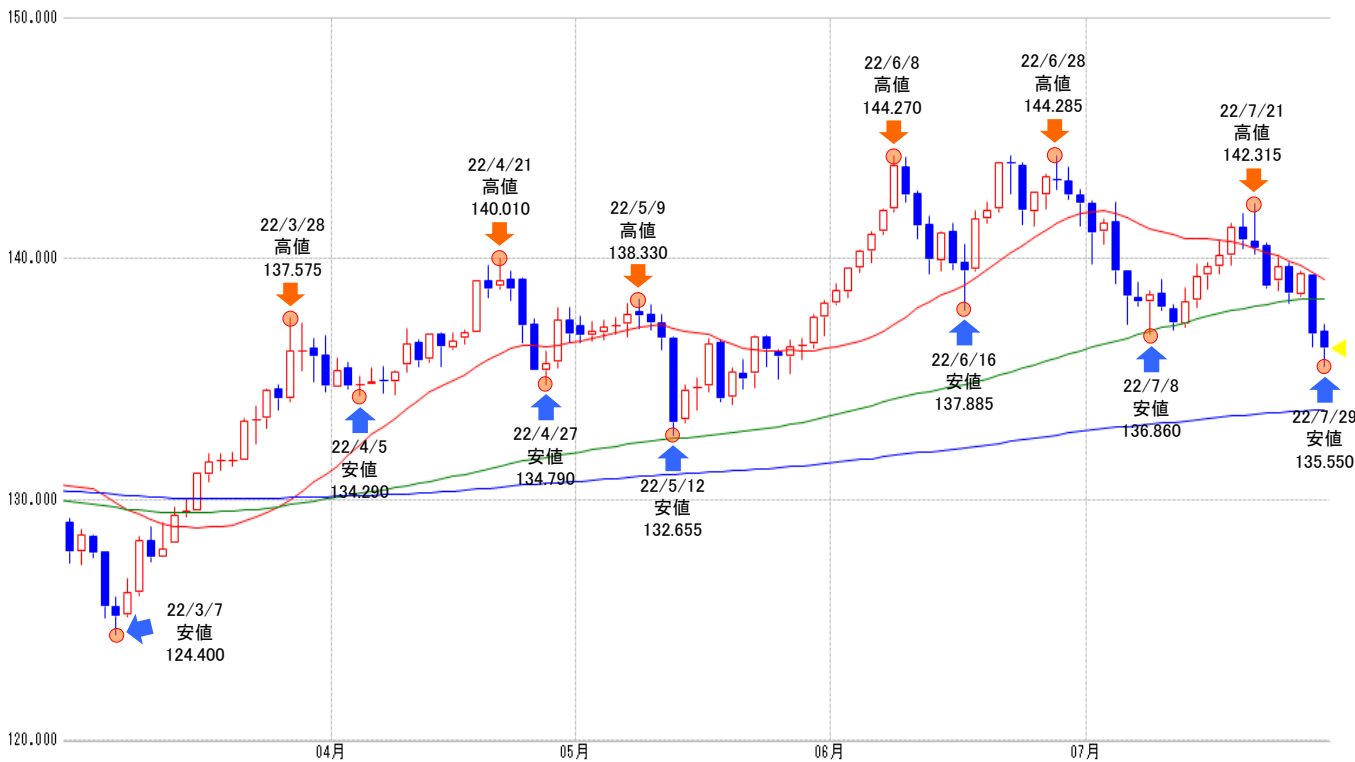
〈相場の格言〉大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠のくものである。)



2022年3月1日～2022年7月29日

ユーロ/円 [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、7/5高値(142.38)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日・200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きにとどまる展開が予想されます。7月の値動きから導き出した計算値(139.84)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、5/12安値(132.65)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(132.60)を下抜けた場合。この場合は節目130円を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 17:00	7月製造業PMI【確定値】		49.6	★★
8/1 18:00	6月失業率		6.6%	★★
8/3 17:00	7月サービス業PMI【確定値】		50.6	★★
8/3 18:00	6月小売売上高(前月比)		0.2%	★★
8/12 18:00	6月鉱工業生産(前年比)		1.6%	★★
8/16 18:00	6月貿易収支		-324億EUR	★★
8/16 18:00	8月ZEW 景気期待指数		-51.1	★★
8/17 18:00	第2四半期GDP【2次速報値】(前年比)			★★★
8/18 18:00	7月EU 基準消費者物価指数【改定値】(前年比)		8.6%	★★
8/31 18:00	8月EU 基準消費者物価指数【速報値】(前年比)			★★★

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

ポンド/円 【逆張り方針】

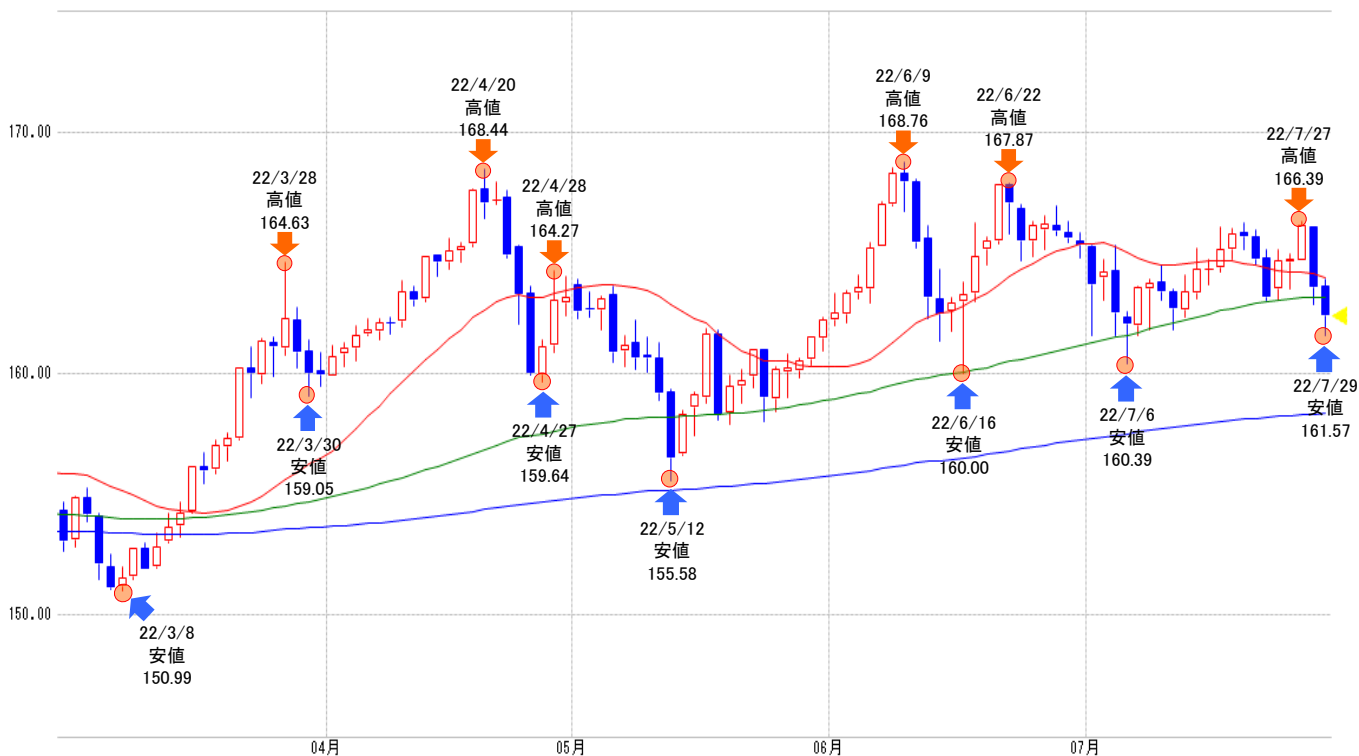
予想レンジ
 ↑ 164.50円
 ↓ 157.80円



2022年3月1日～2022年7月29日

ポンド/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、7/20高値(166.23)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日・200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内の動きにとどまる展開が予想されます。7月の値動きから導き出した計算値(164.45)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、5/19安値(157.87)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(157.80)を下抜けた場合。この場合は5/12安値(155.58)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 17:30	7月製造業PMI【改定値】		52.2	★★
8/4 20:00	8月英中銀 バンクレート		1.25%	★★
8/5 15:00	7月住宅価格(前年比)		12.98%	★★
8/12 15:00	6月製造業生産(前月比)		1.4%	★★
8/12 15:00	6月貿易収支		-214.45億GBP	★★
8/12 15:00	第2四半期GDP【速報値】(前年比)		8.7%	★★★★
8/16 15:00	6月失業率(ILO基準)		3.8%	★★
8/17 15:00	7月消費者物価指数(前年比)		9.4%	★★★★
8/19 8:01	8月Gfk 消費者信頼感指数		-41	★★
8/19 15:00	7月小売売上高(前月比)		-0.1%	★★

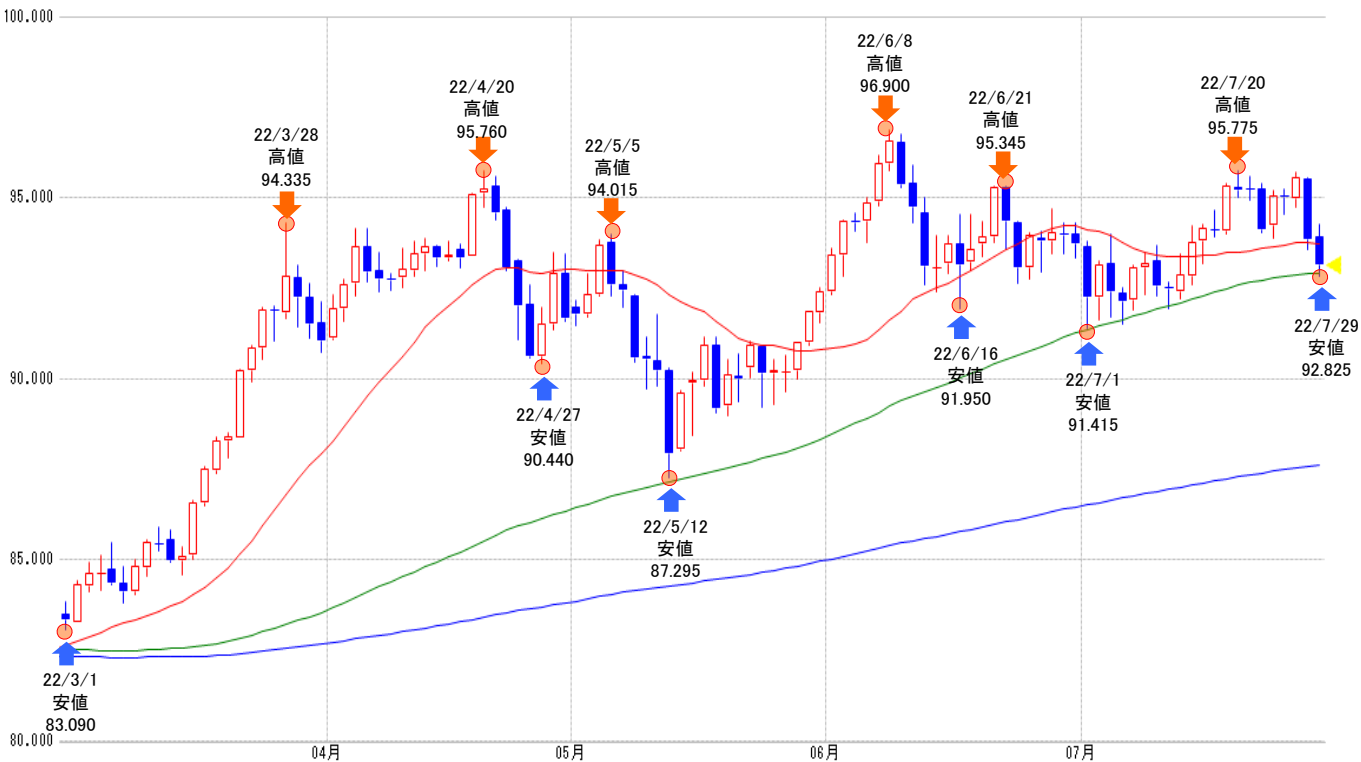
〈相場の格言〉群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)



2022年3月1日～2022年7月29日

豪ドル/円 [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、7/20高値(95.77)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日・200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きにとどまる展開が予想されます。7月の値動きから導き出した計算値(94.47)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、5/27安値(90.00)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(90.00)を下抜けた場合。この場合は5/13安値(88.01)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 8:00	7月製造業PMI【速報値】	55.7	55.7	★★
8/2 10:30	6月住宅着工許可件数		9.90%	★★
8/2 13:30	8月豪中銀政策金利		1.35%	★★★★
8/3 8:00	7月総合PMI【速報値】		50.6	★★★★
8/9 10:30	8月消費者信頼感指数		-3.0%	★★
8/18 10:30	7月就業者数		88.4(千)	★★
8/18 10:30	7月失業率		3.5%	★★
8/23 8:00	8月総合PMI【速報値】			★★
8/29 10:30	7月小売売上高(前月比)			★★
8/30 10:30	7月住宅着工許可件数(前年比)			★★

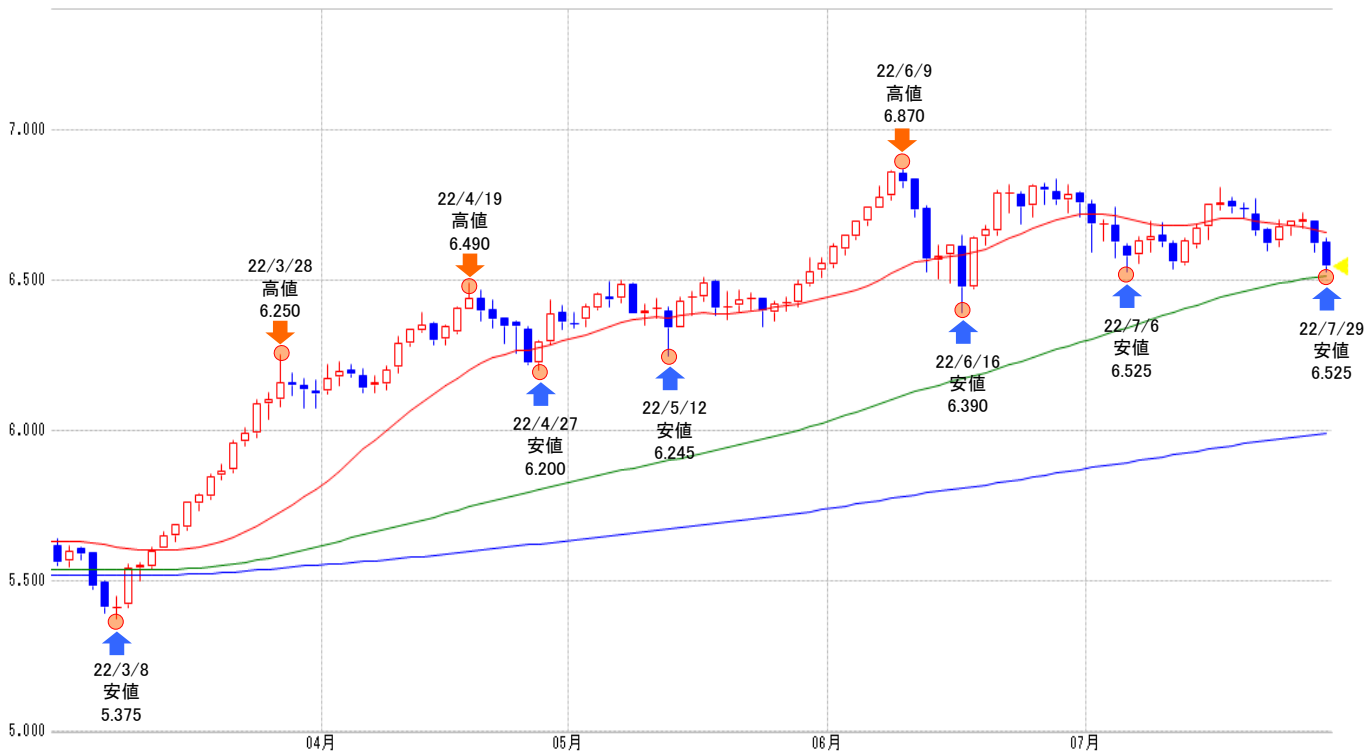
<相場の格言>後悔に二つあり(利食いが早すぎた後悔は笑って済ませよ。利がはげてしまった後悔はやるせない。)



2022年3月1日～2022年7月29日

メキシコ/円 [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、6/9高値(6.870)と6/9高値(6.835)を結んだ延長線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日・200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きにとどまる展開が予想されます。7月の値動きから導き出した計算値(6.625)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、5/12安値(6.245)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(6.240)を下抜けた場合。この場合は4/6安値(6.125)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 23:30	7月製造業PMI		52.2	★★
8/4 20:00	7月消費者信頼感指数 原数値		43.20	★★
8/9 20:00	7月12ヵ月インフレ率(前年比)		7.99%	★★
8/9 20:00	7月12ヵ月コアインフレ率		7.49%	★★
8/9 20:00	7月生産者物価指数(前年比)		10.50%	★★
8/12 3:00	8月政策金利		7.75%	★★★★
8/19 20:00	6月小売売上高(前年比)		5.2%	★★
8/25 20:00	第2四半期GDP【確報値】(前年比)			★★
8/26 20:00	7月貿易収支(USD)			
8/30 20:00	7月失業率			

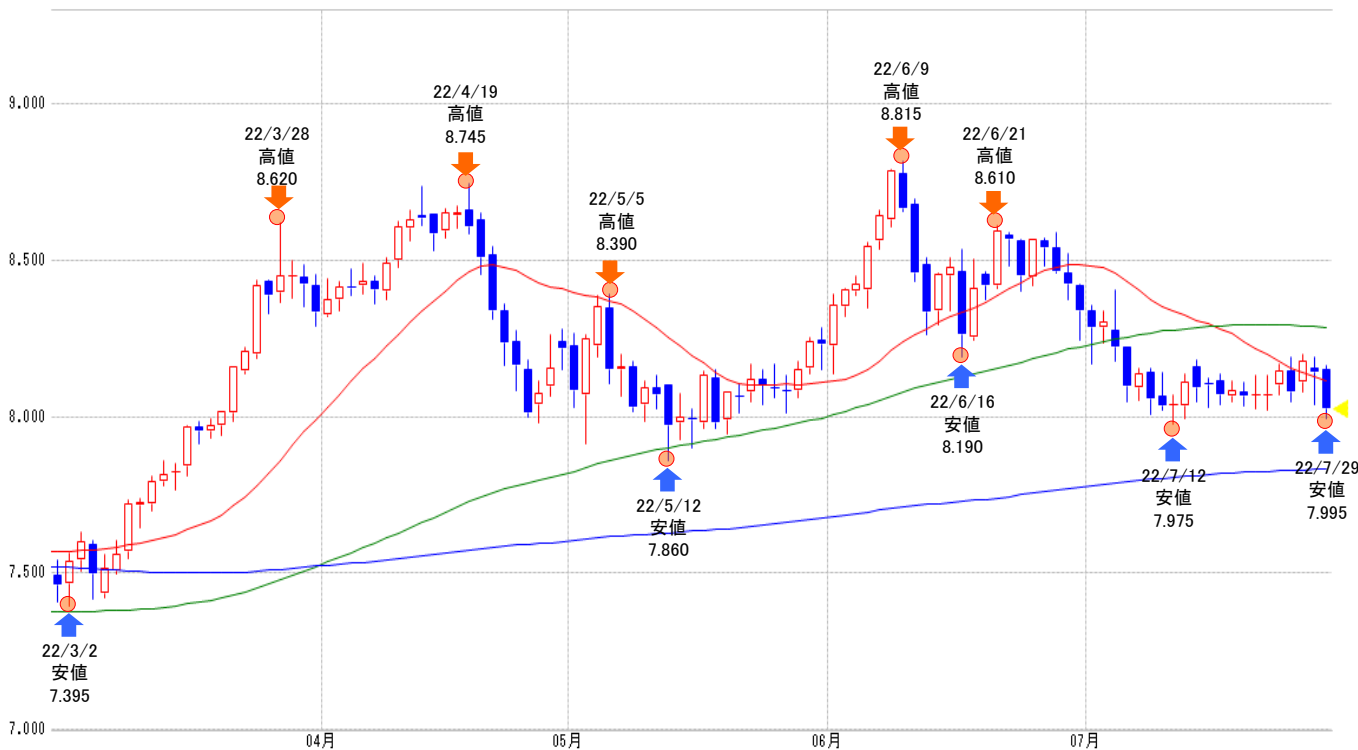
<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすペリの反対現象であるから売りは不利と考える。)



2022年3月1日～2022年7月29日

ランド/円 [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(83)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、節目8.2円が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日・89日移動平均線は下降、200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが窺え、レンジ内での動きにとどまる展開が予想されます。7月の値動きから導き出した計算値(8.235)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、2/10高値(7.735)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(7.730)を下抜けた場合。この場合は3/9安値(7.545)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
8/4 21:30	カナダ	6月貿易収支 (CAD)		53.2億CAD	★★
8/5 21:30	カナダ	7月失業率		4.90%	★★
8/16 21:30	カナダ	7月消費者物価指数 (前年比)		6.50%	★★★
8/17 8:50	日本	7月貿易収支		-1,383.8 (十億)	★★
8/19 8:50	日本	7月消費者物価指数 (前年比)		2.40%	★★★
8/23 18:30	南アフリカ	第2四半期 失業者		34.5%	★★
8/24 17:00	南アフリカ	7月消費者物価指数 (前年比)		7.4%	★★★
8/30 8:30	日本	7月失業率			★★
8/31 21:00	南アフリカ	7月貿易収支			★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)



2022年3月1日～2022年7月29日

トルコ/円 [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メイン
シナリオ 70%

実線は、節目8.0円が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。7/26高値(7.90)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7月の値動きから導き出した計算値(6.85)がサポートになると予想しています。

リスク
シナリオ 30%

予想レンジの下限(6.80)を下抜けた場合。この場合は7月の値動きから導き出した計算値の下限(6.52)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 16:00	7月製造業PMI		48.1	★★
8/3 16:00	7月消費者物価指数(前年比)		78.62%	★★
8/3 16:00	7月生産者物価指数(前年比)		138.31%	★★
8/10 16:00	6月失業率		10.90%	★★
8/11 16:00	6月経常収支		-6.468(十億)	★★
8/12 16:00	6月鉱工業生産(前年比)		9.10%	★★
8/18 16:00	8月トルコ中銀政策金利		14.00%	★★★
8/23 20:00	8月消費者信頼感指数		68.00	★★
8/29 16:00	7月貿易収支			★★
8/31 16:00	第2四半期GDP(前年比)		7.30%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすペリの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ユーロ/米ドル 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 1.0550
 ↓ 1.0090



2022年3月1日～2022年7月29日

ユーロ/米ドル [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、節目1.01ドルがサポートとなり、切り返しの動きとなっています。また短期のトレンドを示す21日移動平均線を上抜け、下落基調の衰えが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(1.0545)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7/27安値(1.0097)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(1.0090)を下抜けた場合。この場合は7/14安値(0.9951)を試す展開が考えられます。

② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	メキシコ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
21年	8月	261円	-410円	159円	-11円	1,971円	3,012円	1,647円	-6.81ドル
	9月	270円	-468円	178円	-19円	2,267円	3,016円	1,780円	-7.48ドル
	10月	268円	-418円	135円	-31円	2,474円	2,242円	1,525円	-6.62ドル
	11月	185円	-466円	60円	-53円	2,463円	2,191円	1,087円	-6.60ドル
	12月	359円	-532円	-126円	-128円	2,168円	2,829円	847円	-9.98ドル
22年	1月	277円	-399円	267円	-5円	2,066円	2,499円	751円	-6.78ドル
	2月	297円	-382円	507円	-24円	2,296円	2,002円	803円	-6.00ドル
	3月	498円	-490円	780円	90円	2,853円	2,577円	1,346円	-8.06ドル
	4月	853円	-425円	1,247円	98円	3,904円	2,864円	753円	-9.23ドル
	5月	1,001円	-289円	1,303円	164円	3,233円	2,494円	1,343円	-6.68ドル
	6月	2,008円	-289円	1,595円	849円	4,482円	3,731円	1,618円	-6.47ドル
	7月	2,241円	-179円	1,636円	1,093円	4,153円	3,434円	643円	-18.98ドル
	計	8,518円	-4,747円	7,741円	2,023円	34,330円	32,891円	14,143円	-99.69ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)

【各国基礎データ】

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	スイス	カナダ	南ア	トルコ
政策金利	2022年2月	-0.10	0.25	0.00	0.50	0.10	1.00	-0.75	0.25	4.00	14.00
	2022年3月	-0.10	0.50	0.00	0.75	0.10	1.00	-0.75	0.50	4.25	14.00
	2022年4月	-0.10	0.50	0.00	0.75	0.10	1.50	-0.75	1.00	4.25	14.00
	2022年5月	-0.10	1.00	0.00	1.00	0.35	2.00	-0.75	1.00	4.75	14.00
	2022年6月	-0.10	1.75	0.00	1.25	0.85	2.00	-0.25	1.50	4.75	14.00
	2022年7月	-0.10	2.50	0.50	1.25	1.35	2.50	-0.25	2.50	5.50	14.00
失業率	2022年1月	2.8	4.0	6.9	3.9	4.2	3.2	2.6	6.5	34.5	11.3
	2022年2月	2.7	3.8	6.8	3.8	4.0	3.2	2.5	5.5	34.5	10.9
	2022年3月	2.6	3.6	6.8	3.7	3.9	3.2	2.4	5.3	34.5	11.2
	2022年4月	2.5	3.6	6.7	3.8	3.9	-	2.3	5.2	-	11.2
	2022年5月	2.6	3.6	6.6	-	3.9	-	2.1	5.1	-	-
	2022年6月	2.6	3.6	-	-	3.5	-	2.0	4.9	-	-
GDP	2020年 4Q	1.8	4.1	-4.9	-7.3	-0.7	-2.1	-1.5	2.2	-4.2	6.2
	2021年 1Q	-0.3	6.4	-1.3	-6.1	1.4	-1.4	-0.4	1.2	-2.6	7.3
	2021年 2Q	0.5	6.6	14.3	23.6	9.7	5.2	8.2	-0.9	19.1	21.9
	2021年 3Q	-0.7	2.1	3.9	7.0	4.1	4.9	3.9	1.3	2.9	7.4
	2021年 4Q	0.9	7.0	4.7	6.6	4.4	5.6	3.6	1.6	1.7	9.1
	2022年 1Q	-0.1	-1.5	5.4	8.7	3.3	5.1	4.4	0.8	3.0	7.3
10年国債	2022年2月	0.184	1.822	0.156	1.411	2.163	2.768	0.263	1.849	9.450	23.070
	2022年3月	0.214	2.345	0.554	1.612	2.788	3.250	0.593	2.401	9.600	23.960
	2022年4月	0.217	2.938	0.938	1.907	3.178	3.655	0.835	2.870	9.955	20.270
	2022年5月	0.241	2.850	1.125	2.101	3.354	3.595	0.907	2.890	9.835	21.490
	2022年6月	0.225	2.974	1.367	2.241	3.693	3.868	1.026	3.225	10.555	18.540
	2022年7月	0.175	2.642	0.827	1.862	3.078	3.398	0.459	2.611	10.360	17.150

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:1枚あたり片道220円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり3,270円~70,120円(2022年8月1日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員